

私もあせお面軍は  
胸も強きかた全軍は  
なつてよやくへ

森の奥へと  
隠し洋館へと  
逃りつぎました

本堂に「うん」  
答へたので、うん、  
うん、うん、うん、

それ「おはよう」  
この森を抜けて  
不意な森を  
抜ける...

余計な心配かも  
知れないけど

今は一目でいから  
姉さんの無事を  
確かめたい...

ほ〜☆

心から輝  
くおかし〜♡

もう？  
シル姉さんのほか：  
心配したんだからね？！

え？  
え？  
...メル？  
なんでまた急じ？





こめんねー  
手紙出たつもうるなの  
そのままきつ放して  
忘れてた。

心配  
かけちゃったね

もう…  
相変わらず  
なんだから

あごめんね  
研修中なのにいきなり  
お邪魔しちゃって…



あの…私の器遣いかも  
これ…ないかな  
感じするの…

い

もう…私には  
心算なめも  
これでお茶で  
リアクスリラクスタ

ッ!?

な…ッ  
何…コレ…



やッ…

やだ…何コレ…



あ…ッ



うふふ…

離してマ…  
シル姉さん…  
一体どうしたの??



キリキリ

淫術の顔へ♡



何って…  
おいしいキマ  
ゼーン

メルも遠慮しないで  
温かい内にピーヤ

ね…

姉さん…